

令和3年度 施設管理運営事業評価票

1 評価対象施設

公の施設の名称		宝塚市立売布北グラウンド				
所在地		宝塚市売布自由が丘8番1号				
指定管理者	団体名	宝塚ウエルネスライフグループ		指定期間	開始日	平成31年4月1日
	所在地	宝塚市売布自由が丘8番1号			終了日	令和6年3月31日
選定方法		公募		評価実施年	指定期間5年のうち2年目	
施設設置目的		市民への体育・スポーツの振興を図ることにより、心身ともに健全な青少年の育成及び、住民の健康保持に寄与することを目的とする。				
主な実施事業		①健康保持のための教室及び各種スポーツ教室の開催 ②社会体育施設の管理運営の受託事業 ③健康・スポーツに関する調査研究及び情報提供 ④その他目的を達成するために必要な事業				

2 利用状況(目標と実績)

成果指標	単位	平成29年度		平成30年度		令和元年度		令和2年度	
		目標	実績	目標	実績	目標	実績	目標	実績
a 利用人数	千人	45	32	45	40	45	33	45	29
b 利用率	%	45	44	45	42	45	36	45	44
c									
d									
e									

3 指定管理業務にかかる収支状況

(単位:千円)

区分		平成29年度決算	平成30年度決算	令和元年度決算	令和2年度決算
収入計	A	25,254	26,145	25,857	27,196
指定管理料		13,828	13,800	13,800	15,078
利用料収入	C	10,099	9,871	10,135	9,643
自主事業収入		1,327	2,187	1,703	2,279
その他		0	287	219	194
支出計	B	26,224	25,492	23,415	21,890
指定事業費		26,224	25,492	22,326	20,287
内、人件費	D	5,563	5,846	3,507	3,630
内、再委託料	E	11,392	11,627	12,854	10,584
自主事業費		0	0	1,089	1,604
事業収支	A-B	(970)	653	2,442	5,306
利用率比率	C/A	40.0 %	37.8 %	39.2 %	35.5 %
人件費率	D/B	21.2 %	22.9 %	15.0 %	16.6 %
再委託費比率	E/B	43.4 %	45.6 %	54.9 %	48.4 %

- ・「支出」欄「指定事業費」は、代表的な内訳を取り上げているため合計額とはならない。
- ・着色セルは、自動計算としている。
- ・事業費は、前年度以前の決算を記載する。

補足説明	①新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、令和2年4月9日から5月31日は休館(屋外のみ5月22日より再開)となった。 ②令和2年度指定管理料のうち、新型コロナウイルス感染症拡大防止に伴う臨時休館等による損失補填額1,178,466円。
------	---

4 評価

注)自己評価・・・指定管理者 所管評価・・・施設所管課

評価項目	評価基準	自己評価	所管評価	
① サービスの履行の確認	人員体制	事業計画に即し、人員を過不足なく配置している。 必要な資格、経験を有する人員が確保されている。	A A	A A
	外部委託	事業計画に即し、計画的に研修等を実施している。	A	A
		外部委託の内容は、事前に市の承認を受けており適切である。	A	A
	法令遵守等	外部委託業者に対して協定書等を遵守させている。	A	A
	個人情報保護	法令、条例等に基づき、必要な点検、報告等を行っている。	A	A
		個人情報保護に関する法令等を遵守している。	A	A
	情報公開	個人情報の漏洩、滅失等の事故防止対策を講じている。	A	A
		情報公開に関する法令等に準じた運用を行っている。	A	A
	管理記録	協定書に従い、情報を適切に管理し、公表している。	A	A
		業務日誌等を適切に整備、保管している。	A	A
	連絡調整	点検、修繕等の履歴が適切に記録、保管されている。	A	A
		協定書等に従い、各種報告書を市に提出している。	A	A
緊急対応	市、関係団体等との連絡調整を適切に行っている。	A	A	
	事故、災害等の緊急時の連絡体制が整備されている。	A	A	
財務状況	緊急時のマニュアルが整備され、定期的に訓練を行っている。	A	A	
	緊急時又は危険予測時、直ちに措置を講じ、市に報告を行った。	A	A	
《 総括 》	団体の財務状況は、業務の継続が可能な状態である。	A	A	
	「業務の実施体制」に関する評価 【標準18項目/本施設 項目】	A	A	
② サービスの質の評価	施設管理	協定書に従い、開館日、閉館時間等を遵守している。	A	A
	利用者対応	事故防止及び安全確保のために必要な対策を講じている。	A	A
		利用許可、案内等を迅速かつ適切に行っている。	A	A
	事業運営	利用者に対して設備、備品等を適切に提供している。	A	A
		言葉使い、態度、服装等接遇が適切である。	A	A
	維持管理	事業計画に即し、受託事業を実施している。	A	A
		施設の目的に添った自主事業を実施している。	S	A
	環境配慮	事業内容がサービス水準の向上に寄与している。	S	A
		仕様書等に従い、清掃、警備、衛生管理を適切に行っている。	A	A
	広報活動	仕様書等に従い、施設や設備の保守管理を行っている。	A	A
		備品台帳に基づき、備品を適切に管理している。	A	A
	苦情等対応	協定書等に従い、適切に修繕を行っている。	A	A
省エネルギー、省資源等環境への配慮がなされている。		A	A	
利用者アンケート等	事業の開催案内、ホームページの管理等を適切に行っている。	A	A	
	要望、苦情等に対して迅速かつ適切に対応している。	A	A	
《 総括 》	要望、苦情等を整理し、遅滞なく市に報告している。	A	A	
	利用者アンケート調査等を実施し、その結果が妥当である。	A	A	
	「業務の内容・水準」に関する評価 【標準18項目/本施設 項目】	A	A	
③ 安定性	経理事務	専用口座、帳簿等を備え適切に経理事務を行っている。	A	A
	予算執行	収支予算書の範囲内で適正に予算を執行している。	A	B
	経費縮減	経費が縮減され、又は縮減に向けた努力を行っている。	A	A
	収支状況	収支予算書と比較して、収支状況は妥当である。	A	A
《 総括 》	「経費の収支等」に関する評価 【標準4項目/本施設 項目】	A	A	
指定管理者所見 (成果、課題、今後の改善点等)	数値については、テニスコート利用者の戻りが早く、好調をキープしたことから、収入に大きく貢献した結果となりました。自主事業についても既存教室の継続とイベント開催等で、新規顧客獲得に繋がりました。また、今年度は野球場顧客から希望が多かった野球場ベース管の取りを付け工事を完了しています。今後の課題については、適正な修繕計画と実行があげられます。再度、利便性を含めて優先順位の高い案件を調査し、お客様の付加価値に繋がる修繕計画を実行して参ります。			
施設所管課所見 (成果、課題、今後の改善点等)	自主事業において、コロナ禍にも関わらず、既存教室の継続、利用者のニーズに合わせた新たな教室の開講等により、ほぼ予算通りの数値となったことは評価できる。また、利用者の要望が多数あった野球場ベース管理込工事を行い、より快適な利用をしていただけるよう適切な修繕を行った。今後も利用者の要望を把握し、緊急度や優先順位に鑑みながら、安心・安全な施設運営のために必要な整備が課題といえる。			
前年評価	A	総合評価	A	

※評価区分

評価基準:	S	= 協定書等の水準を大きく上回っており、優良である。
	A	= 協定書等の水準を満たしており、良好である。
	B	= 協定書等の水準を満たしているが、一部改善が望ましい。
	C	= 協定書等の水準を満たしておらず、改善が必要である。
《総括》:	S	= 評価基準が全てA以上であり、かつSが過半数である。
	A	= 評価基準のうちBが3割未満で、Cがない。
	B	= S、A、C以外
	C	= 評価基準にCが1つでも含まれる。
総合評価:	S	= 自己評価、所管評価の《総括》にB・Cが含まれず、かつSが過半数である。
	A	= 自己評価、所管評価の《総括》にCが含まれず、Bが2つ以下である。
	B	= S、A、C以外
	C	= 自己評価、所管評価の《総括》にCが2つ以上含まれる。